

創世記

創世記全体のテーマと流れ

天地創造	人類の罪	ノアの洪水	諸国民と言語の始まり	アブラハムの家族	ヨセフ、イスラエルの民
1章－2章	3章－4章	5章－9章	10章－11章	12章－38章	39章－50章

登場人物：アダム、イブ、ノア、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ
(▶覚え方、アノ～、アブラ～イヤヨ)

46章前半のポイント

46章前半では、ヨセフの家族、特に父ヤコブが3代に渡って住んだカナンを離れる場面が出てきています。祖父アブラハムは、行き先は分かりませんでした。創世記を信じ旅立ち、カナンへと導かれました。そして孫に当たるヤコブは行き先を示されてはいませんが、同じく創世記を信じ、長く住んだカナンを後にします。出発にあたり、父ヤコブはベエルシェバで礼拝を捧げます。祖父の代から様々な約束・恵み・導きを頂いた事を思い出す感謝の時となったのでしょうか。

また父ヤコブの心配であった「最期をどこで過ごすか。誰と過ごすか」という一人の人間としての最後の悩みに創世記は答えを下さいました。最愛の息子ヨセフに看取られるという答えでした。死んだと思って最愛の息子、22年もの間、悲劇の中で過ごしていた父ヤコブにとっては、最期を祝福された気持ちだったのではないのでしょうか。彼はエジプトへ向かって歩み始めます。

学びましょう

1. 46章28節～47章12節を読んでみましょう。

2. 46章28節～47章12節のポイントを把握してみましょう。

(1)ゴシェン(ラメセス)の地で(46章28～34節)

自分の子供に22年も会えなかったとしたら、どんな気持ちでしょうか。また22年ぶりに会えるとしたら、どんな気持ちでしょうか。遂に感動の再会が実現します。父ヤコブはエジプトのゴシェンの地で最愛の息子ヨセフと再会します。29節では「ヨセフに会うと(新改訳：会うなり)」という文章に、*גַּיְוֹרָא* というヘブライ語が使われています。この言葉は、族長に創造主が現れる時に使われた言葉で再会の重要性を強調しています。29節後半にはその再会の様子まで記録されています。「父に会うと、父の首を抱き、しばらくの間その首にすがって泣き続けた。」創造主訳聖書はその様子を見事に表しています。ベニヤミンとの再会と違い、ヨセフと父ヤコブは泣き続けました。22年間の別れ、寂しかった感情、感謝や恵み、そして再会の喜びで涙が止まらなかった事でしょう。

創造主の計画はいつも「良いお方(詩篇103篇2節)」事です。その道のりの途中には困難・苦しみ・悲しみなどがあっても、最後は感謝と恵みを告白する他ないほどの良き道へ導いてくださいます。

(2)出エジプトまでの期間・ヨセフの兄弟(イスラエル民族)はエジプトに留まる事になる(47章1～12節)

ゴシェンの地でヨセフと再会した父ヤコブは続いて、エジプトの王パロに謁見します。またヨセフの兄弟のうち5人も王様のパロと謁見します。そこで王様に尋ねられた事がありました。それはヨセフの家系の職業でした。46章33～34節でもヨセフの兄弟が事前練習をしているように、この質問はとても大切な質問でした。肥沃な土壌を基に農耕生活をしているエジプトの定住人と、羊を飼いながら移動する遊牧民は一緒に住むことが難しいと考えられていたからです。彼らは予行練習通りに「羊飼いです」と答えました。その答えに合わせて、王のパロはラメセスの地を与えると11節で語っています。ヨセフ達からみるとゴシェンという名のただの地名でしたが、農耕中心の生活をしている定住人のエジプト人から言わせるラメセス(肥沃の地という意味)の地を遊牧民に与える事には大きな意味がありました。

これ以後、ヨセフの民はエジプトで増え広がり、出エジプトまでの210年あまりをエジプトで過ごすこととなります。出エジプト記1章8節にヨセフとの関わりが記されています。

分かち合いましょう

みなさんには再会したい人がいるでしょうか。それはどんな人ですか。この地上で会えなくても、天国で会える再会の喜びを期待している人はどんな人ですか。天国での再会を期待する時、この地上での人生はどう変わのでしょうか。

1. 教会と記念館の為

(1) ビジョン達成のために

- ①「創造をベースに、99%へ福音を」という教会のビジョンが、創造主によって祝福されますように。
- ②2021年度ビジョン「創造主を信じ、その大能の力によって強くして頂きなさい」の実現の為に。クリスチャン一人一人が、主に繋がり、主によって強められるように。

(2) 教会のため

- ①教会の本質的な働きー礼拝と伝道の働きの為 ②教会の共同体の関係祝福のために③教会の霊的成長・成熟のために ④地域との関係
- ⑤ユースの学び会の為に

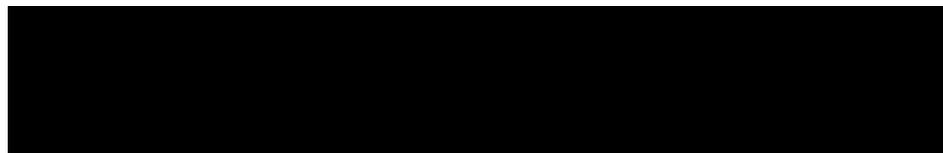
(3) ノアの箱船記念館のため

- ①ノアの箱船記念館が伝道のために、クリスチャンの信仰形成の為に用いられます様。②ノアの箱船記念館の財政の祝福、ノアの歩道の為

(4) 教役者のために①堀越葉満主事のため ②宮崎聖牧師家庭のため

2. 教会員の方々の為に

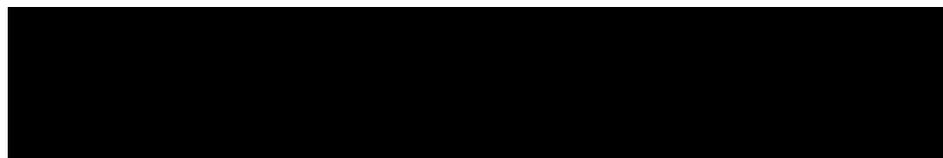
(1) 病にある方々の為に・平安があります様に



(2) 教会からしばらく離れている方の為



(3) 今月の祈禱課題の方々のために



3. 伝道と宣教の為

(1) 洗礼準備・聖書の学びをされている方々のため



(2) 受洗後の学びをされている



(3) 伴侶の救いの為



(4) 伝道のためのグループ(感染から守られる様に)

- ①レプトン ②ゴスペル・フラ ③卓レシア ④女性集会
- ⑤創愛クラブ ⑥クラフトカフェ ⑦ノア・パーク

(5) ロゴス・ホープ号乗船

